

ゲンティン・マレーシア(GENM)

マレーシアの入国後隔離撤廃など、各国で進む規制緩和が追い風に。米国で夏に新レジャー施設を開業予定

マレーシア | カジノ・ゲーミング | 業績フォロー

BLOOMBERG GENM:MK | REUTERS GENM.KL

- 2022/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比2.7倍、純利益が前年同期から赤字幅縮小、調整後EBITDAは前年同期から黒字転換。
- 移動規制や営業規制の緩和に伴い、レジャー・ホスピタリティ部門は、マレーシア、英国・エジプト、米国すべての地域で業績回復。
- マレーシアでは入国後隔離を撤廃。各国で進む移動規制の緩和による観光需要の回復が、レジャー事業の追い風となろう。

What is the news?

5/26発表の2022/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比2.7倍の17.21億MYR、純利益が前年同期の▲5.01億MYRから▲1.47億MYRへ赤字幅縮小、減損損失や事業売却益など一時的要因の影響を除いた調整後EBITDAは前年同期の▲1.10億MYRから4.14億MYRへ黒字転換。世界的な移動規制や営業規制の緩和に伴い、レジャー・ホスピタリティ部門の業績が改善したことが貢献。前四半期に業績が急回復した反動により、前四半期比では売上高が4.3%減、調整後EBITDAが43.8%減だった。

1Qのセグメント別の調整後EBITDAは以下の通り。①レジャー・ホスピタリティ部門のマレーシアが前年同期の▲83百万MYRから2.62億MYRへ黒字転換。マレーシア国内における移動規制の緩和に伴い、リゾート・ワールド・ゲンティン(RWG)の業績が回復したことが寄与した。②同部門の英国・エジプトが前年同期の▲51百万MYRから84百万MYRへ黒字転換。イギリスにおいてリゾート事業が再開したことが寄与。③同部門の米国・バハマが前年同期比14%増の78百万MYR。コロナ禍においてもリゾート・ワールド・カジノ・ニューヨークシティ(RWNYC)の操業を継続したことが貢献した。④不動産部門および投資・その他部門が前年同期の▲43百万MYRから▲11百万MYRに赤字幅縮小となった。

How do we view this?

同社の見通しによると、2022年4月以降も世界的な移動制限の緩和により好調な事業環境が継続すると見込んでおり、データ分析を強化したマーケティングによるサービス品質の強化、コスト最適化、RWNYCの機能拡張等を通じた事業拡大を図る計画だ。更に2022年夏には米国オレンジカウンティで新たなレジャー施設をオープン予定となっている。

また、マレーシアでは2022年4月1日から新型コロナのワクチン接種完了を条件に隔離なしの入国を外国人に認めたほか、飲食店の営業時間規制など大半の規制を撤廃・縮小した。更に5月1日には屋外でのマスク着用義務も撤廃した。各国で進む規制緩和による観光需要の回復が、引き続き同社の主力事業であるレジャー・ホスピタリティ事業に追い風となろう。

業績推移

※参考レート 1MYR=30.161円

事業年度	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12F	2023/12F
売上高(百万MYR)	10,314	4,465	4,085	9,306	10,840
純利益(百万MYR)	1,395	-2,264	-947	729	1,246
EPS(MYR)	0.25	-0.40	-0.17	0.12	0.21
PER(倍)	12.38	-	-	26.07	14.59
BPS(MYR)	3.27	2.64	2.44	2.42	2.50
PBR(倍)	0.93	1.16	1.25	1.26	1.22
配当(MYR)	0.11	0.06	0.09	0.13	0.14
配当利回り(%)	3.61	1.97	2.95	4.10	4.59

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)



フィリップ証券

A Member of PhillipCapital

フィリップ証券株式会社

配当予想(MYR) **0.13** (予想はBloomberg)
終値(MYR) **3.05** 2022/6/3

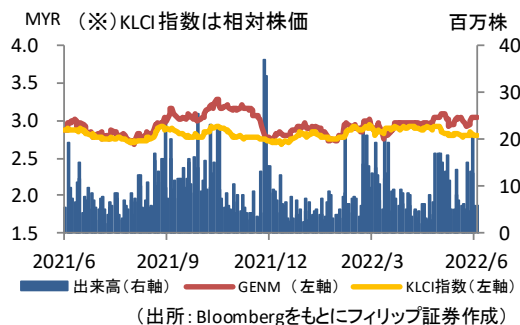
会社概要

1980年設立。マレーシア資本財閥のゲンティングループの企業で、統合型リゾート(IR)を世界的に展開している。

主力のレジャー・ホスピタリティ部門は、以下の通り。
①マレーシア事業は、マレーシア唯一の公認カジノを併設した「リゾート・ワールド・ゲンティン(RWG)」を擁する。
②英国・エジプト事業は、英国の「リゾート・ワールド・バーミンガム」、エジプトの「クロックフォードカイロ」などを運営する。英国ではカジノのリーディング企業として、ロンドンや郊外でカジノを運営するほか、オンライン・カジノ事業を展開。
③米国・バハマ事業は、ニューヨークの「リゾート・ワールド・カジノ・ニューヨーク・シティ(RWNYC)」、バハマの「リゾート・ワールド・ビミニ」を運営する。
その他にも、不動産部門や投資・その他部門を運営している。

企業データ(2022/6/7)

ベータ値	0.91
時価総額(百万MYR)	17,278
企業価値=EV(百万MYR)	26,464
3か月平均売買代金(百万MYR)	25.6



主要株主(2022/6)

1.ゲンティン	49.35
2.AIA BHD	2.19
3.ブラックロック	1.39

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

山口 亮太
+81 3 3666 0707
ryota.yamaguchi@phillip.co.jp

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

日本証券アナリスト協会検定会員 山口亮太

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。